

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭64-1871

⑬ Int. Cl.⁴

B 25 C 1/00
3/00

識別記号

庁内整理番号

Z-7712-3C
7712-3C

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月9日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 釘打機の釘保持装置

⑯ 実 願 昭62-93812

⑰ 出 願 昭62(1987)6月18日

⑱ 考 案 者 奥 島 英 樹 東京都中央区日本橋箱崎町6番6号 マックス株式会社内

⑲ 出 願 人 マックス株式会社 東京都中央区日本橋箱崎町6番6号

⑳ 代 理 人 弁理士 瀬川 幹夫

㉑ 実用新案登録請求の範囲

釘を打出すドライバ部材を摺動自在に収容した打込み通路を有するノーズ部の先端部に配置され、通常時はノーズ部の先端よりもさらに突出した位置に位置し、被打込み材料面と係合してノーズ部の軸線方向に沿って移動可能で且つ上記ノーズ部を包囲する円筒状の係合部を有する安全装置を備えた釘打機において、

上記ノーズ部の先端外周部に複数の釘ガイド要素を設け、これら釘ガイド要素の各先端部をノーズ部の先端よりも突出させてノーズ部の打込み通路の延長方向に進入する位置と上記打込み通路の延長方向から退避する位置とに開閉可能に枢着するとともに、これらのガイド要素を弾性手段によって閉じ方向に付勢してその内側に上記打込み通

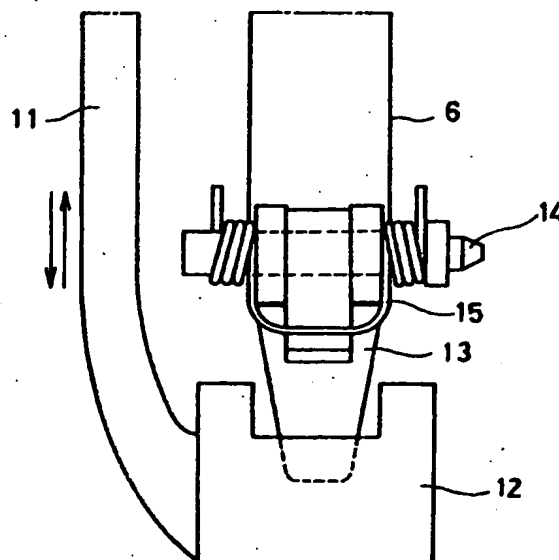
路内の釘を保持可能とする一方、上記安全装置の係合部が被打込み材料表面に係合してノーズ部の軸方向に沿って移動したときに、上記ガイド要素をその内部に収容して上記釘の打込みに際して開き作動したガイド要素を受け止めることを特徴とする釘打機の釘保持装置。

図面の簡単な説明

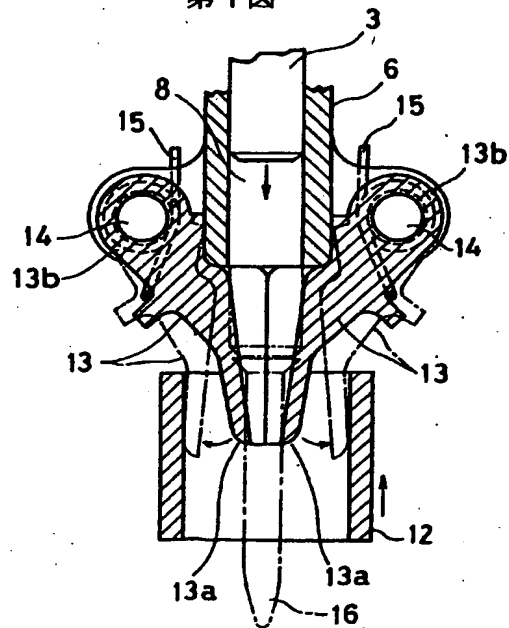
第1図は本考案に係る釘打機の釘保持装置の側面の縦断面図、第2図は上記釘保持装置の正面図であり、第3図は上記釘打機の全体側面図である。

符号A……釘打機、6……ノーズ部、8……打込み通路、3……ドライバ部材、12……係合部、13……ガイド要素、15……ねじりコイルバネ、16……釘。

第2図



第 1 図



第 3 図

